

単元 「G ダンス（現代的なリズムのダンス）」

1 単元目標

- (1) 現代的なリズムのダンスの特性を理解し、自己の能力に応じた課題を選んで、動きや相手との対応の仕方を工夫してみんなで交流して踊ったり、まとまりのある動きを工夫して発表し合ったりすることができるようにする。
 - ア 現代的なリズムにのって、リズムの取り方や動き方、相手との対応の仕方などを自由に工夫してみんなで踊りを楽しみ交流することができるようにする。
 - イ 現代的なリズムと動きの多様な関係をとらえてまとまりのある動きを工夫して踊ったり、作品にまとめてみんなで発表し合ったりすることができるようにする。 **(技能の内容)**
- (2) 誰にでも心を開き、友達と自由にかかわったりしながらリズムにのって楽しく踊り、互いのよさ認め合い、協力して練習したり、交流したり、発表したりできるようにする。 **(態度の内容)**
- (3) グループの課題や自己の能力に応じた課題の解決を目指して、計画的な練習の仕方や発表の仕方を工夫できるようにする。また、発表交流会の企画や運営ができるようにする。 **(学び方の内容)**

2 単元の評価規準

I 運動への関心・意欲・態度

ダンスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるよう互いに協力して進んで練習や発表交流会に取り組もうとする。また、互いのよさを認め合い、協力して練習や発表交流会をしようとする。

- ① リズムにのって体を動かす楽しさや喜びを味わおうとする。
- ② 誰にでも心を開き、仲間と自由にかかわったりしながら、協力して練習や創作に取り組もうとする。
- ③ 練習や発表交流会では、互いによさを認め合い、グループで協力して積極的に参加し、自他の理解を深めようとする。

II 運動についての思考・判断

自己の能力やグループの特性に応じた技能を習得するための課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方や作品の構成、発表交流会の仕方を工夫している。

- ① 自己の能力やグループの特徴に応じた課題を設定し、作品づくりをしている。
- ② 課題設定や特性に応じた曲選び、動きづくりをしている。
- ③ 発表交流会に向けて計画的に練習・創作活動をしている。

III 運動の技能

ダンスの特性に応じたリズムカルな動きを身に付けるとともに、音楽の特徴を生かしたまとまりのある表現ができる。

- ① 体全体でリズムをとらえ、リズムカルに動くことができる。
- ② 自己の能力・グループの特性に応じた表現ができる。
- ③ 音楽の特徴を生かし、相手との対応の仕方を工夫した動き・表現ができる。

IV 運動や安全についての知識・理解

ダンスの特性やリズムの取り方・動き方を理解するとともに、その特徴を生かした作品の構成・動きのまとめ方を知っている。

- ① 仲間と関わりながら動く楽しさや、工夫して交流することの楽しさ・喜びについていったり書き出したりしている。
- ② 学習の進め方、動きや作品のまとめ方を理解し、具体例をあげている。また、お互いの作品について、評価の仕方の具体例をあげている。

3 評価規準例「ダンス（現代的なリズムのダンス）」

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
I 関 心 ・ 意 欲 ・ 態 度	<p>①全身でリズムをとらえ、リズムにのって思い切り動いたり、誰とでも楽しく関わりながら動いたりして、自ら進んでダンスの楽しさを味わおうとする。</p> <p>②仲間との対応の仕方を自由に工夫し、積極的に誰とでも楽しく踊って交流しようとする。</p> <p>③仲間と協力して練習し、リーダーシップを発揮しながら仲間と教え合い、活動しようとする。</p>	<p>①全身でリズムをとらえ、リズムにのって動いたり、仲間と関わりながら動いたりして、ダンスの楽しさを味わおうとする。</p> <p>②相手との対応の仕方を自由に工夫し、仲間と楽しく踊って交流しようとする。</p> <p>③仲間と協力して練習し、仲間と教えあって活動しようとする。</p>	<p>①全身でリズムをとらえる、リズムにのって動くなどのダンスの楽しさを味わおうとする。</p> <p>②相手との対応の仕方を工夫し、仲間とかかわって楽しもうとする。</p> <p>③仲間と協力して練習し、活動しようとする。</p>
II 思 考 ・ 判 断	<p>①自己の能力や仲間の特徴に応じた課題を選び、自ら進んでその解決に向けてアイデアを出したり、出し合ったアイデアを積極的に作品にまとめようとしている。</p> <p>②現代的なリズムと動きの多様な関係を十分にとらえ、まとまりのある動きをいろいろと工夫しようとしている。</p> <p>③発表交流会に向けて、自ら積極的に作品の構成を工夫し、まとめようとしている。</p>	<p>①自己の能力や仲間の特徴に応じた課題を選び、その解決に向けてアイデアを出し合ったりして、作品にまとめようとしている。</p> <p>②現代的なリズムと動きの多様な関係をとりえ、まとまりのある動きを工夫しようとしている。</p> <p>③発表交流会に向けて作品の構成を工夫し、まとめようとしている。</p>	<p>①自己の能力に応じた課題を選び、作品にまとめようとしている。</p> <p>②現代的なリズムと動きの関係をとりえ、動きを工夫しようとしている。</p> <p>③発表交流会に向けて作品をまとめようとしている。</p>
III 運 動 の 技 能	<p>①体全体を使った大きな動きや、リズムに乗った多様なリズムのとり方ができる。</p> <p>②自己の能力やグループの特性を十分に生かした動き・表現ができる。</p> <p>③誰とでも対応しながら、相手や仲間と積極的に関わりを持ってリズムをとったり動いたりできる。</p>	<p>①体全体を使った動きや、リズムに乗ったリズムのとり方ができる。</p> <p>②自己の能力やグループの特性に応じた動き・表現ができる。</p> <p>③相手や仲間と対応しながら、関わりを持ってリズムを取ったり動いたりできる。</p>	<p>①体全体を使った動きやリズムのとり方ができる。</p> <p>②自己の能力に応じた動き・表現ができる。</p> <p>③相手と対応しながらリズムをとったり動いたりできる。</p>
IV 知 識 ・ 理 解	<p>①現代的なリズムのダンスは、仲間との関わりを持ってリズムに乗って動く楽しさや、リズムの取り方や動き方を工夫することの楽しさや喜びを味わうことのできる運動であるという特性について、言ったり書き出したり、仲間に教えたりすることができる。</p> <p>②学習の進め方、相手のよさを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方、鑑賞・評価の仕方について具体例を挙げたり、仲間に教えたりすることができる。</p>	<p>①現代的なリズムのダンスは、仲間との関わりを持ってリズムに乗って動く楽しさや、リズムの取り方や動き方を工夫することの楽しさや喜びを味わうことのできる運動であるという特性について、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②学習の進め方、相手のよさを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方、鑑賞・評価の仕方について具体例を挙げている。</p>	<p>①現代的なリズムのダンスは、仲間との関わりを持って動く楽しさや喜びを味わうことのできる運動であるという特性について言うことができる。</p> <p>②学習の進め方、相手のよさを感じ取る発表交流会の行い方、鑑賞・評価の仕方について言うことができる。</p>

4 評価規準の評価観点例「ダンス（現代的なリズムのダンス）」

	A 十分満足	B おおむね満足	C 努力を要する
I 関心・意欲・態度	<p>①ア自ら進んでリズムにのって思い切り動く楽しさを味わっている。 イ誰でも楽しく関わりを持ちながら、自ら進んで楽しんでいる。</p> <p>②ア相手との対応の仕方を自由に工夫しながら、積極的に動いている。 イ仲間と楽しく踊りながら、自ら進んで交流している。</p> <p>③ア積極的に仲間と協力して練習している。リーダーシップを発揮しながら仲間と教え合い、交流しながら活動している。</p>	<p>①アリズムにのって大きく動く楽しさを味わっている。 イ仲間と関わりを持ちながら楽しんでいる。</p> <p>②ア相手との対応の仕方を自由に工夫しながら動いている。 イ仲間と楽しく踊りながら交流している。</p> <p>③ア仲間と協力して練習している。お互いに教え合いながら交流し、活動している。</p>	<p>①ア周囲の助けを借りて、リズムにのって動く楽しさを味わっている。 イ周囲の助けを借りて、仲間と関わりを持ちながら楽しんでいる。</p> <p>②ア仲間の助けを借りて、相手と対応して動いている。 イ仲間と踊りながら交流している。</p> <p>③ア仲間の助けを借りながら、協力している。 イ教えてもらいながら交流している。</p>
II 思考・判断	<p>①ア自己の能力や仲間の特徴に応じたより高度な課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けて積極的にアイデアを出しながら、作品にまとめている。</p> <p>②ア現代的なリズムと動きの関係をより深く、多様な形でとらえて動きを作ろうと工夫している。 イより多様な動きを組み合わせながら、まとまりのある動きを工夫している。</p> <p>③ア発表交流会に向けて作品のはじめや終わり、全体の構成をより工夫している。 イリズムやアクセントのとらえ方をより工夫し、さらに変化とまとまりのある動きを作っている。</p>	<p>①ア自己の能力や仲間の特徴に応じた課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けてアイデアを出し合いながら、作品にまとめている。</p> <p>②ア現代的なリズムと動きの関係を多様な形でとらえて動きを作っている。 イ多様な動きを組み合わせながら、まとまりのある動きを工夫している。</p> <p>③ア発表交流会に向けて作品のはじめや終わりなど、構成を工夫している。 イリズムやアクセントのとらえ方を工夫し、まとまりのある動きを作っている。</p>	<p>①ア周囲の助けを借りて、自己の能力に応じた課題を選んでいる。 イ課題の解決に向けて、仲間の助けを借りながら作品にまとめている。</p> <p>②ア現代的なリズムと動きの関係をとらえて、助けを借りながら動きを作っている。 イ仲間の助けを借りて、まとまりのある動きを工夫しようとしている。</p> <p>③ア発表交流会に向けて仲間の助けを借りて、動きの構成を工夫している。 イ仲間の助けを借りて、まとまりのある動きを作っている。</p>
III 運動の技能	<p>①ア全身をリズムカルに弾ませながら、軽快に大きく動くことができる。 イより軽快な音楽にのってリズムカルに、変化を付けながらリズムをとって踊ることができる。</p> <p>②ア自己や相手の能力に応じてより軽快にステップを踏んだり、ストップモーションを入れたり、手拍子を入れたりして動きながら、リズムをとらえることができる。 イ相手やグループの特性を捉えて、より軽快に動きやリズムのとり方に変化を付けることができる。</p> <p>③ア相手の動きを真似し合ったり、並んだりしながら、誰とも関わりながら対応を自由に工夫することができる。 イ仲間との関わり方を様々に変化させながら、より軽快にリズムを取ったり、動いたりできる。</p>	<p>①ア全身を弾ませながら、軽快に動くことができる。 イ音楽にのってリズムカルに、リズムをとって踊ることができる。</p> <p>②ア自己や相手の能力に応じてステップを踏んだり、ストップモーションを入れたり、手拍子を入れたりして動きながらリズムをとらえることができる。 イ相手やグループの特性を捉えて、動きやリズムのとり方に変化を付けることができる。</p> <p>③ア相手の動きを真似し合ったり、並んだりしながら相手や仲間との対応を工夫することができる。 イ仲間との関わり方を様々に変化させながら、リズムを取ったり、動いたりできる。</p>	<p>①ア全身を弾ませながら、動くことができる。 イ音楽にのって、リズムをとって踊ることができる。</p> <p>②ア自己の能力に応じてステップを踏んだり、手拍子を入れたりして動きながらリズムをとらえることができる。 イ相手や仲間と一緒に、動きやリズムのとり方に変化を付けることができる。</p> <p>③ア相手の動きを真似したり、並んだりしながら相手や仲間との対応することができる。 イ仲間と関わりながら、リズムを取ったり、動いたりできる。</p>
IV 知識・理解	<p>①ア現代的なリズムのダンスは仲間との関わりを持って、リズムにのって動くことの楽しさが味わえるということについて、詳しく表現したり、仲間に教えたりできる。 イリズムの取り方や動き方の工夫について、詳しく表記したり、仲間に教えたりできる。</p> <p>②ア練習の進め方や作品のまとめ方について具体例をあげたり、仲間に説明したりできる。 イ相手のよさを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方、作品の評価の仕方について具体例をあげたり、仲間に説明したりできる。</p>	<p>①ア現代的なリズムのダンスは仲間との関わりを持って、リズムにのって動くことの楽しさが味わえるということについて、言ったり書いたりしている。 イリズムの取り方や動き方の工夫について、言ったり書き出したりしている。</p> <p>②ア練習の進め方や作品のまとめ方について具体例をあげている。 イ相手の良さを見分けたり感じ取ったりする発表交流会の行い方、作品の評価の仕方について具体例をあげている。</p>	<p>①ア現代的なリズムのダンスは仲間との関わりを持って、動くことの楽しさが味わえるということについて、言うことができる。 イリズムの取り方や動き方の工夫について、言うことができる。</p> <p>②ア練習の進め方や作品のまとめ方について言うことができる。 イ発表交流会の行い方、作品の評価の仕方について言うことができる。</p>

5 指導と評価の計画例「ダンス（現代的なリズムのダンス）」 <2年生(15時間)>

時間	ねらい・生徒の学習の活動	具体的方法	学習活動における評価の観点
はじめ (1時間)	(1) ダンスの特性や学習の仕方を理解する。 (2) 自己やグループの課題を決める。 (3) 学習ノートや学習資料の活用の仕方を理解する。	I—① 行動観察 II—① 学習ノート IV—② 学習ノート	・ダンスの特性に興味を持ち、楽しさや喜びを味わおうとする。 ・自己の課題を見つけようとする。 ・学習ノートの活用方法を理解しようとする。
なか1 (4時間)	ねらい1 (今ある能力で工夫) (1) 基本的なリズムのとり方・動き方を練習する。 (2) お互いにかかわったり、相手と自由に対応して動く。 (3) 基本的な動き・ステップを組み合わせてまとまりのある動きを作る。	II—② 行動観察 IV—① 行動観察 I—② 行動観察 III—② 行動観察 IV—① 行動観察 学習ノート	・課題を見つけて練習しようとする。 ・全身で大きく動こうとする。 ・お互いに協力してかかわり合いながら練習しようとする。 ・リズムに乗った動きの組み合わせでまとまりのある動きができる。
なか2 (4時間)	ねらい2 (高まった能力に合わせて) (1) よりリズムカルなリズムの取り方・動き方ができるようにする。 (2) 相手とより自由に対応しながら動きを作る。 (3) 仲間と協力してまとまりのある動きをつくり、作品にまとめる。 (4) 発表交流会を通して互いのよさを認め合い、ダンスの楽しさを深める。	III—① 行動観察 III—③ 学習ノート 行動観察 IV—② 行動観察 II—③ 学習ノート I—③ 学習ノート 行動観察	・よりリズムカルな動き・ステップで踊ろうとする。 ・仲間の動きやリズムのとり方を感じながら動きをつくろうとする。 ・はじめや終わりを工夫して、作品にまとめようとする。 ・発表交流会の計画・運営を通して、互いの交流を深め、次の課題を見付けようとする。
なか3 (4時間)	ねらい3 (さらに進んだ能力で) (1) 曲のリズム・テンポを生かして個性的な動き・リズムのとり方の作品を創作する。 (2) 互いの動きや作品のできばえを理解し、教えあって踊ったり、発表し合ったりする。 (3) 協力して発表交流会を企画・運営し、互いに評価する。	II—② 学習ノート II—③ 行動観察 III—② 行動観察 III—③ 学習ノート I—③ 行動観察 IV—② 学習ノート III—③ 行動観察 IV—全 行動観察 小テスト	・曲の特性を生かした個性的な動き作り・作品づくりができる。 ・お互いに認め合い、意見を出し合いながら教えあったり、発表し合ったりしようとする。 ・発表交流会に積極的に参加し、互いの動きや作品を評価しようとする。
まとめ (2時間)	自己の学習ノートの記録を手掛かりにしなが、学習を振り返り、学習全体のまとめをする。 (1) 楽しかったこと、楽しくなかったことやその理由 (2) 活動の進め方や工夫のしかたはどうだったか。 (3) 動き・作品のできばえはどうだったか。	学習ノートや小テスト、さらに毎日の評価記録簿から総括的な評価をする。	行動観察などから関心・意欲・態度の項目として次のことを評価する。 (1) 学習の準備や片付けをしていたか。 (2) ダンスに適した準備運動を行おうとしていたか。 (3) 健康・安全に留意して練習・発表をしていたか。 (4) 発表交流会の運営に協力し、互いの作品を評価することができたか。

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目（具体例）	評価結果			備考		
					評価	〇&×	特記事項	評価点	割合 %	
I 関心・意欲・態度	行動観察	I-①	1	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。	A	B	C		× 1	25%
		I-①	2	全身でリズムをとらえようとしている。	A	B	C		× 1	
		I-①	3	リズムによって動いている。	A	B	C		× 1	
		I-②	4	仲間と関わりながら、楽しく動こうとしている。	A	B	C		× 1	
		I-②	5	相手との対応の仕方を工夫し、自由に交流しようとしている。	A	B	C		× 1	
		I-②	6	準備などを積極的に行っている。	A	B	C		× 1	
		I-②	7	協力して授業に参加している。	A	B	C		× 1	
		I-③	8	恥ずかしがらずに、リズムに合わせて踊っている。	A	B	C		× 1	
	学習ノート	I-①	9	リズムや踊りに関する記述が見られる。	A	B	C		× 2	
		I-②	10	仲間との動き作りに関する記述が見られる。	A	B	C		× 2	
		I-③	11	仲間との交流を意識した記述が見られる。	A	B	C		× 2	
					合計					
II 思考・判断	行動観察・対話	II-①	12	自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	A	B	C		× 1	25%
		II-①	13	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。	A	B	C		× 1	
		II-②	14	課題設定に応じた選曲、動きづくりをしている。	A	B	C		× 1	
		II-②	15	リズムを的確にとらえ、動きづくりを工夫している。	A	B	C		× 1	
		II-③	16	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。	A	B	C		× 1	
	学習ノート	II-①	17	作品の構成を工夫した記述が見られる。	A	B	C		× 2	
		II-②	18	多様なリズムと動きの関係をとらえた記述が見られる。	A	B	C		× 2	
					合計					
III 運動の技能	行動観察・発表会	III-①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。	A	B	C		× 1	25%
		III-①	20	体全体でリズムをとらえ、リズムカルに動いている。	A	B	C		× 1	
		III-①	21	体の細かい部分に配慮した動きをしている。	A	B	C		× 1	
		III-②	22	グループの特性に応じた表現ができる。	A	B	C		× 1	
		III-②	23	音楽の特徴を生かした動きをしている。	A	B	C		× 1	
		III-②	24	自己の能力に応じた表現ができる。	A	B	C		× 1	
		III-③	25	相手との対応を工夫した動きや表現ができる。	A	B	C		× 1	
		III-③	26	ステージの位置取りを工夫している。	A	B	C		× 1	
					合計					
IV 知識・理解	行動観察	IV-①	27	練習場所を工夫して、安全に留意している。	A	B	C		× 1	25%
		IV-①	28	リズムの取り方、動き方を工夫する楽しさを理解した言動である。	A	B	C		× 1	
		IV-②	29	発表会の運営について、意見を言っている。	A	B	C		× 1	
		IV-②	30	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。	A	B	C		× 1	
	学習ノート	IV-①	31	リズムによって仲間と楽しく踊ることを理解した記述が見られる。	A	B	C		× 2	
		IV-②	32	他のグループの発表についての的確に評価した記述が見られる。	A	B	C		× 2	
					合計					
					総合計					

総時間数 () 時間 、 欠席時間数 () 時間 、 見学時間 () 時間

特記事項

体育授業 記録シート

年 組	種目名()	実施月日	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮
			月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
Nr.	組・番 氏	評価項目番号															
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7																	
8																	
9																	
10																	
11																	
12																	
13																	
14																	
15																	
16																	
17																	
18																	
19																	
20																	
21																	
22																	
23																	
24																	
25																	
26																	
27																	
28																	
29																	
30																	
31																	
32																	
33																	
34																	
35																	
36																	
37																	
38																	
39																	
40																	

観点別評価項目例「ダンス(現代的なリズムのダンス)」 2年生(15時間)

評価観点	方法	具体の規準	項目番号	観点別評価項目(具体例)
I 関心・意欲・態度	行動観察	I-①	1	授業時間を大切にし、けじめある態度で参加している。
		I-①	2	全身でリズムをとらえようとしている。
		I-①	3	リズムにのって動いている。
		I-②	4	仲間と関わりながら、楽しく動こうとしている。
		I-②	5	相手との対応の仕方を工夫し、自由に交流しようとしている。
		I-②	6	準備などを積極的に行っている。
		I-②	7	協力して授業に参加している。
		I-③	8	恥ずかしがらずに、リズムに合わせて踊っている。
	学習ノート	I-①	9	リズムや踊りに関する記述が見られる。
		I-②	10	リズムや踊りに関する記述が見られる。
		I-③	11	リズムや踊りに関する記述が見られる。
II 思考・判断	行動観察・対話	II-①	12	自己の能力に応じた課題を設定し、取り組んでいる。
		II-①	13	グループの特性に応じた課題を設定し、取り組んでいる。
		II-②	14	課題設定に応じた選曲、動きづくりをしている。
		II-②	15	リズムを的確にとらえ、動きづくりを工夫している。
	II-③	16	発表交流会に向けて、計画的に練習をしている。	
	学習ノート	II-①	17	作品の構成を工夫した記述が見られる。
II-②		18	多様なリズムと動きの関係をとらえた記述が見られる。	
III 運動の技能	行動観察・発表会	III-①	19	恥ずかしがらずに思い切って体を動かしながら表現している。
		III-①	20	体全体でリズムをとらえ、リズムカルに動いている。
		III-①	21	体の細かい部分に配慮した動きをしている。
		III-②	22	グループの特性に応じた表現ができる。
		III-②	23	音楽の特徴を生かした動きをしている。
		III-②	24	自己の能力に応じた表現ができる。
		III-③	25	相手との対応を工夫した動きや表現ができる。
		III-③	26	ステージの位置取りを工夫している。
IV 知識・理解	行動観察	IV-①	27	練習場を工夫して、安全に留意している。
		IV-①	28	リズムの取り方、動き方を工夫する楽しさを理解した言動である。
		IV-②	29	発表会の運営について、意見を言っている。
		IV-②	30	鑑賞の仕方を理解し、的確に行動している。
	学習ノート	IV-①	31	リズムにのって仲間と楽しく踊ることを理解した記述が見られる。
		IV-②	32	他のグループの発表についての的確に評価した記述が見られる。

総時間数 () 時間 . 欠席時間数 () 時間 . 見学時間 () 時間